A-102 内科（必修）-内科プログラム

1 概要

当院の内科（必修）研修24週では、一般内科16週、心臓内科4週、脳神経内科4週に分けてローテーションを行いながら研修する。このプログラム（A-102）は一般内科で16週の内科（基本研修）を行うためのプログラムである。一般内科とは感染症・総合内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科を指している。

研修指導責任者

感染症・総合内科 椋田権吾	呼吸器内科 澄川 崇
血液内科 田中孝幸	消化器内科 田中 究
腎臓内科 宗村千潮	糖尿病・内分泌・代謝内科 楢崎晃史

2 目標

(1) 中央病院GIO

将来遭遇しうるいかなる状況においてでも思いやりを持ちながら良質な全人的医療を行うために、県の基幹病院での研修を通じ、将来の専攻する診療科にかかわらず臨床に必要な基本的診療能力（態度、技能、知識）を修得する。

(2) 一般目標（内科（必修）研修GIO）

将来遭遇しうるいかなる状況においてでも思いやりを持ちながら良質な全人的医療を行うために、内科疾患の知識・診断・技術を習得することを通して、将来の専攻する診療科にかかわらずプライマリケアの臨床に必要な基本的診療能力（態度、技能、知識）を修得する。

一般目標（内科（必修）－内科研修GIO）は上記の内科（必修）研修GIOに同じ

(3) 行動目標（内科（必修）－内科研修SBOs）

各診療科での詳細は以下のプログラムに記載する

A-103 内科（必修）－感染症・総合内科プログラム
A-104 内科（必修）－消化器内科プログラム
A-105 内科（必修）－呼吸器内科プログラム
A-106 内科（必修）－血液内科プログラム
A-107 内科（必修）－糖尿病・内分泌・代謝内科プログラム
A-108 内科（必修）－腎臓内科プログラム

3 方略（LS）

指導医数 15 名

(1) 一般内科での指導には、２名以上の異なる専門を有する医師が担当する

(2) 研修期間は16週

(3) 同時研修の制限を特に設けない

(4) 場所は外来、病棟、内視鏡室、検査室、放射線室など

(5) 症例ごとに指導医・上級医とマンツーマンで研修する

(6) 研修医は指導医の下、10名程度の入院患者を担当する

(7) プログラムで決められた到達目標が達成されるように、症例を受け持つ

(8) 院内外カンファランス、CPC、学会への参加、発表を通じて文献検索能力、EBM 実践、研究への興味など身につける

(9) 最低年4 回開催するCPC に出席する（必修）

(10) 受け持ち患者以外にも交代で剖検助手を務める

(11) 上部消化管内視鏡、CVC については、はじめにシミュレーターを利用する

週間予定例

各診療科での詳細は以下のプログラムに記載する

A-103 内科（必修）－感染症・総合内科プログラム

A-104 内科（必修）－呼吸器内科プログラム

A-105 内科（必修）－消化器内科プログラム

A-106 内科（必修）－血液内科プログラム

A-107 内科（必修）－糖尿病・内分泌・代謝内科プログラム

A-108 内科（必修）－腎臓内科プログラム

4 評価（EV）

(1) 形成的評価（フィードバック）

知識（想起、解釈、問題解決）については随時おこなう

態度・習慣、技能についても随時行う。

技能についてはチェックリスト、評定尺度の使用を推奨

態度・習慣については観察記録の使用を推奨

(2) 総括的評価

指導医は研修担当期間が終了する時点で、PG-EPOC の評価入力を行う。